



<p>トラブル名</p> <p>MTS アクチュエータの油漏れ</p>			
<p>発生日時</p> <p>2022年 9月 1日</p>	<p>発生場所・箇所</p> <p>2F 北東 巴フレーム</p>	<p>被災者</p> <p>無し</p>	<p>報告者</p> <p>嶋口</p>
<p>トラブル内容 (出来るだけ詳しくまた図示等を交え解り易く記入)</p> <p>巴フレームに MTS1000kN アクチュエータを鉛直に設置し、使用していたところプレッシャー側ホースを接続しているブロックの接続部から油漏れが発生した。ポンプを起動後、HSM の電磁弁を ON にした段階で、ブロックの隙間から油が霧状に噴出した。</p> <p>油漏れ箇所を確認すると、ブロックを固定しているボルトが弛んでおり、ブロックを取り外すと、O リングが破損していた。</p> <p>対応として O リング (AS568-227B) を交換し、ブロックのボルトを既定のトルクで締め付けなおしたところ、油漏れは起きず正常に使用できた。</p> <p>対象のボルトについては、MTS 納品後にセンター側で一度もチェックされておらず、弛むという認識もなかったためチェック項目に入っていなかった。また図面などの資料の十分引継ぎがされていなかったため、探すのに手間取り O リングの型番の特定に時間がかかった。</p>			
			
<p>図-1 油漏れ箇所</p>			
<p>図-2 O リングの破損</p>			
<p>被害状況</p> <p>起動時は近くに人はいなかったため、人的被害はなかった。</p> <p>油漏れ箇所が高所にあったため、広範囲に油が散布され、清掃が必要になった。</p> <p>原因の調査、O リングの調達、交換作業のため実験に遅れが出た。</p>			
<p>原因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長年の使用により、振動等でブロックを固定するボルトが弛んだため。 			
<p>対策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. MTS の使用前にホース以外の接続部についても、全てトルクのチェックを行う。 2. O リング等の消耗部品については、在庫を確保しておき、劣化がみられる場合は交換する。 3. 関係資料について、保管場所を周知し、必要なものについては電子化する。 			

<p>トラブル名 巴載荷フレームのクライミング装置の作動不良</p>			
<p>発生日時 2023年1月 11日</p>	<p>発生場所・箇所 東側中央の巴載荷フレーム</p>	<p>被災者 無し</p>	<p>報告者 鈴木博</p>
<p>トラブル内容 (出来るだけ詳しくまた図示等を交え解り易く記入) 巴載荷フレームの高さを変更するために、フレームを下げていたところ、上側のピンを抜いた直後にアラームによりポンプが停止した。写真の油面低下のアラームが点灯しポンプが起動できなくなった。</p>			
			
<p>写真 ポンプユニットのアラーム表示</p>			
<p>被害状況 下側ピンはロックされているため、被害はなかった。</p>			
<p>原因 配管からのオイル漏れにより、油圧ポンプユニットの油面が下がり、安全装置が働いてクライミング装置が止まってしまった。</p>			
<p>対策 オイルを追加する。 使用するオイルについてメーカーに問い合わせたところ、マシンオイルの指定の粘度は#40であるが、製品として販売されていないため、#32と#46を#40程度になるように混合し、使用すればよいとの回答があった。 (出光ダフニーを購入して使用) 問い合わせ先：(株) 巴技研 五十畑氏 TEL:03-3533-670 オイルの給油口はクロスヘッド上部の油圧ポンプユニットのサイドカバーを外すと、オイルキャップが見えるため、そこから追加する</p> <p>*3月16日(木)に上記の対応で正常に動くことを確認した。</p>			

<p>トラブル名 穴開けパンチャーの転倒トラブル</p>			
<p>発生日時 2022 5/13 10:30頃</p>	<p>発生場所・箇所 溶接場所付近</p>	<p>被災者 なし</p>	<p>報告者 鈴木博</p>
<p>トラブル内容 (出来るだけ詳しくまた図示等を交え解り易く記入)</p> <p>鉄の薄板 (1400×900 t=6) に穴をあけるため、鉄板を台の上に置き、その上に穴開けパンチャーを用意して置いておいた。パンチ穴が眼鏡をしていると見えづらい為、眼鏡をはずして鉄板の上に置き鉄板のパンチ穴を確認していたところ、穴開けパンチャーが倒れ、眼鏡に当たってしまった。</p> 			
<p>被害状況 特に人的被害はなかったが、メガネが飛んで歪んでしまった。</p>			
<p>原因</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンチャーの直立安定性があまりよくないこと。 ・安定の悪い機械の近くに物を置いたこと。 ・機械が倒れたら危険だと一瞬思ったのに、そのままにしてしまったこと。 			
<p>対策</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. パンチャーが安定するように置台を作る。 2. 嫌な予感がした時、そのままにしないですぐに対処すること。 3. 同様のトラブルが発生しないよう、トラブル事例を掲示し啓蒙する。 			